

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月 20 日

協議会名： 美濃市地域公共交通会議

評価対象事業名： 地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
美濃タクシー株式会社 久愛商事有限公司	乗り合わせタクシー 区域運行(市内全域)	運行開始以来行っている利用者アンケートを今年度も引き続き実施し、利用者のニーズ、満足度の把握に努めた。 新規利用者の増加を目指した利用促進として、令和2年3月に市広報誌によるPRの実施を行った。 また、非利用者も含めた意識調査のため、本年2月に公共交通アンケートの実施を予定している。	B 利用者の要望によるミーティングポイントの見直しを実施。 今年度、新設3件、廃止1件 令和2年3月に市広報誌にて市公共交通全体についてのPR、のり愛くんの利用方法についての周知を行った。 利用説明会については新型コロナウイルス感染症の影響により地域で集まる機会が減少しており、開催できなかった。 非利用者も含めたアンケートについては本年2月に予定している。	B ====【年間利用者数】==== 目標:47,000人 実績:36,848人(未達成) 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、昨年度利用者数46,147人から大幅に減少した。今後は、感染症対策や、そのPRにより、新規利用者の増加のみならず、これまでの利用者の回復を目指す。 ====【利用者アンケートの満足度】==== 満足度(5段階評価の内、上位2段階)の割合 目標:50%以上 実績:70%(達成)	新型コロナウイルス感染症対策及び感染症対策を行っている旨のPRを行うことと、利用者のマナー向上を呼び掛けることで、昨年度まで利用していた層の回復を目指すとともに、新規利用者獲得のため、民生委員へ交通弱者に対するのり愛くんの周知を依頼する。 また、現行システムで利用者ニーズに応えられているか把握するため、公共交通アンケートを実施する。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和3年1月20日

令和3年1月20日

協議会名:	美濃市地域公共交通会議
-------	-------------

評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
----------	----------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	平成25年6月に美濃市地域公共交通計画を策定(平成25年度～令和4年度)。公共交通の将来像として公共交通のサービス水準、「市内の各地域から中心市街地へは、直通で30分を目安に移動できること」、「市内の各地域から市外へは、直通もしくは1回の乗り継ぎで移動できること」の2点を設定し、誰もが安全に安心して自由に移動できる公共交通を確保し、効率的かつ効果的な運行をすることを目標としている。
-----------------------------	--